

「環境先進都市いけだ」を目指した 小学校出前授業プロジェクト

関西大学政策創造学部橋口勝利ゼミナール、池田市民生活部環境にやさしい課、NPO法人いけだエコスタッフと協働で、これまで6年間（2011年度～2016年度）池田市子ども環境基本計画に取り組んできました。



小学校出前授業の様子①

活動の概要

目的	「池田市子ども環境基本計画」を、子どもたちの具体的学びに繋げて市内への浸透を図ること
連携メンバーおよび役割	池田市民生活部環境にやさしい課…小学校・関係団体との交渉、企画実施の支援 NPO法人いけだエコスタッフ…企画全体のマネジメント、小学校との事前交渉、地域協力者との調整 池田市立緑丘小学校 / 池田市立細河小学校…環境教育プログラムの検討と実施 関西大学政策創造学部 橋口勝利ゼミ…環境教育プログラムの企画と運営
活動地域	大阪府池田市
活動期間	2011年度～（継続中）

連携の経緯

池田市は、環境都市を目指して、「池田市新環境基本計画」を策定。これに伴い「子ども環境基本計画」も合わせて策定された。橋口ゼミは、「子ども環境基本計画」策定に参画したこともあり、この計画を具体的に実現させるために、小学校への環境教育の企画・運営を担当することになった。

解決すべき課題

- 環境教育にむけた教育プログラムを作ること
- 子どもたちの意欲を高めるような授業内容を作ること
- 地域企業や住民との連携を図り、教育プログラムに巻き込むこと



小学校出前授業の様子②

大学の役割

池田市内小学校へ向けた環境出前授業は、学生、池田市役所環境にやさしい課、NPO法人いけだエコスタッフと協働で、2011年度から実施している。授業は、1年間で5回行った。

授業内容の立案、授業運営は基本的に学生が担当する。授業形式は、小学生を4～6名のグループに分け、環境に関わるテーマについての議論を経て、提案、実行、報告へと繋げていくもの。学生は、講義の運営、各グループのファシリテーターとして参加し、学習効果の向上を図っていく。

なお、2015年度は池田市の里山におけるゴミや獣害、生態系の変化などをテーマに授業を実施。それぞれのテーマについて現状と課題を学んだ後、実際に里山保全活動に携わる方からも活動内容を講義していただき里山に与える影響について学習した。授業の締めくくりでは、小学生が学習内容を発表しクラス内で広く共有した。

本事業は、学生が企画、交渉、授業運営を行う中で、池田市役所環境にやさしい課職員、NPO法人エコスタッフ、そして小学校教員の方々から手厚い助言や協力を得ることで、活動実績が高まっている。そして小学生への教育活動を通じた交流も深まって、学生たちの取り組み意欲も年々高まっている。

今後も効果的な環境学習を通じて地域コミュニティを深めることを目指して、学生とともにチャレンジしたい。

成果

- 2011年度：小学校内の廃油の回収量増加、電気料金減少などを実現
- 2012年度：小学生は、グループごとに緑丘小学校区の将来図を作成、報告へ繋げた
- 2013年度：現場での企業取材を重ね、解決案をプレゼンテーションすることで、地域企業の課題や解決策を小学生自身の課題としてとらえて実践する地域学習につながった
- 2014年度：家庭内で発生する「ごみ」を利用してリサイクル品を作成することで、小学生たちの問題解決への実践力を養うことに繋がった。
- 2015年度：池田市の里山の現状と保全活動の実態を学び、小学生の地域に対する知識を深めた

現場の声

・中川彰宏（政策創造学部3年生）

私たちは、自分の「ふるさと」への興味（地元への愛着）を持ってほしい、自分でなにか考え行動できるようになってほしいという、子どもへの2つの大きな想いを持って活動しています。大学生と子どもたちが互いに学び合う存在であることから、互いに高め合うことができ、密度の濃い時間を過ごすことができていると確信しています。

どのような授業をすれば、子どもは興味を持ってくれるのか、集中して取り組んでくれるのかを考えることは難しいことです。しかし、授業で子どもたちの笑顔や真剣な顔を見るとやりがいを感じます。

子どもたちにとって最高の学びは何かを1番に考え、これからも活動を頑張っていきたいと思っています。

今後の展望

- 課題
- 「環境」を子供たちにわかりやすく伝えること
 - 地域住民や地域企業との連携を深めること
- 展望
- 環境学習プログラムを池田市全域、そして全国へ発信すること
 - 大学生の自主性、企画力、行動力を高めていくこと

研究者の紹介



政策創造学部 准教授
橋口 勝利
(はしぐち かつとし)

専門は地域経済史。ゼミのモットーは「企画力」と「行動力」です。地域では多くの出会いがあります。熱い気持ちで地域の課題に取り組んで、一緒に成長していきましょう。